

(4) 生活圏における広域調査

県及び市町村では、平成23年9月から、携行型空間放射線量測定器（サーベイメータ）等を用いて、生活圏を中心として、公園、学校など、

地域を代表する地点で空間放射線量率を定期的に測定しています。

ア 群馬県放射線マップ

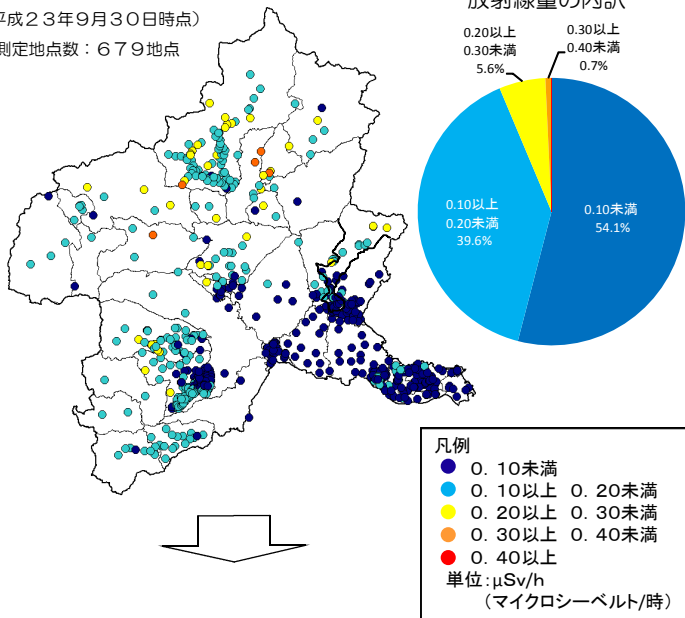
平成24年5月に、情報の共有や連携を目的に設置した「県・市町村放射線対策会議」では、除染等の対策による放射線量の低減の状況を目に見える形でお示しするため、これまでの測定結果を基に、平成25年度から「群馬県放射線マップ」を作成しました。

なお、平成26年度の測定結果において、全ての地点で放射線量が問題のないレベルまで低下（0.23 μ Sv/h未満）したことから、同年度をもって「群馬県放射線マップ」の更新を終了しました。

「群馬県放射線マップ」の測定結果

第1回

(平成23年9月30日時点)
測定地点数：679地点



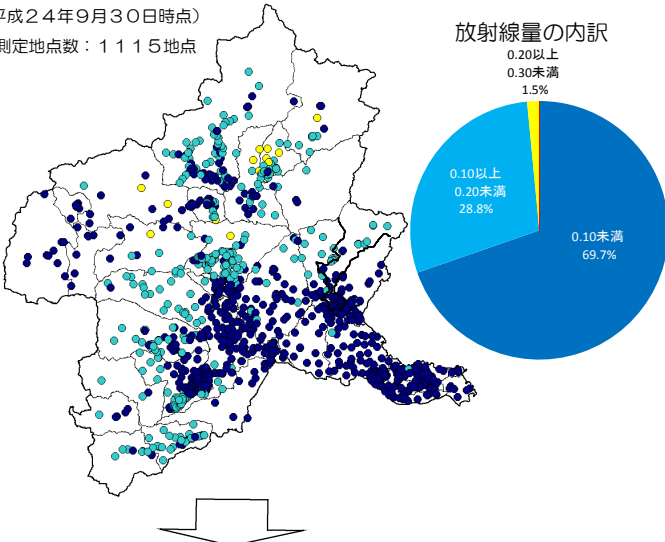
毎時0.2マイクロシーベルト以上0.3マイクロシーベルト未満の地点は全体の5.6%（38地点）、毎時0.3マイクロシーベルト以上0.4マイクロシーベルト未満の地点は0.7%（5地点）でした。

県中央及び東部地域の平野部では、全ての地点で毎時0.2マイクロシーベルト未満でした。

なお、毎時0.4マイクロシーベルト以上の地点は確認されていません。

第2回

(平成24年9月30日時点)
測定地点数：1115地点



1年前に5地点あった毎時0.3マイクロシーベルト以上0.4マイクロシーベルト未満の地点は無くなり、毎時0.2マイクロシーベルト以上0.3マイクロシーベルト未満の地点は、全体の1.5%（17地点）に減少しています。

1年前と比べ、生活圏における空間放射線量率は着実に低下しています。